

平成 26 年度第 3 回県政世論調査（抜粋）

平成 27 年度はあいちの教育に関するアクションプランⅡの計画最終年度となっていることから、次期愛知県教育振興基本計画における今後の方向性を捉える参考資料とするため、平成 26 年度第 3 回世論調査において、以下のとおり調査を実施した。

◎ 調査項目

- (1) 子どもを教育していく中での家庭の役割
- (2) 子どもを教育していく中での地域社会の役割
- (3) 学校に望むこと
- (4) 子どもの将来のため、県が力を入れるべき教育分野
- (5) 授業以外で教員が優先すべき業務

◎ 調査対象及び回答者数

- 1 調査対象 愛知県内に居住する 20 歳以上の男女 3,000 人
- 2 回答者数 1,443 人

◎ 調査時期

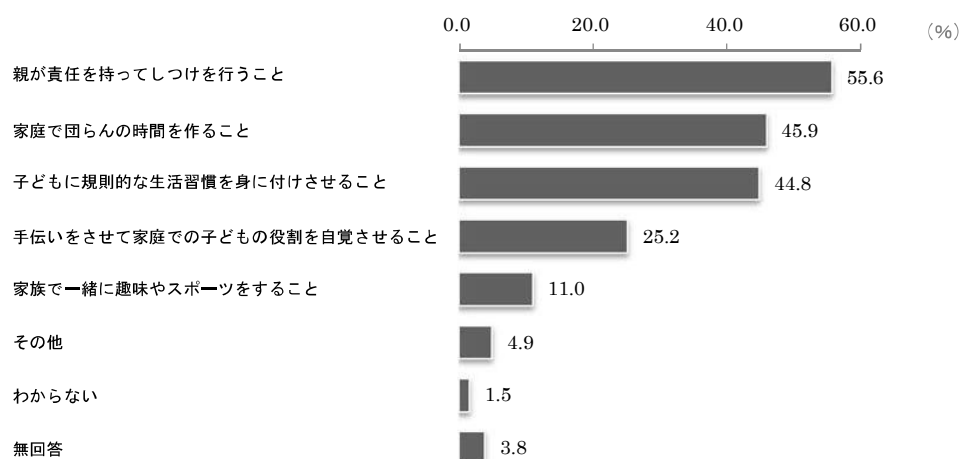
平成 26 年 11 月 1 日～平成 26 年 11 月 20 日

5 教育について

(1) 子どもを教育していく中での家庭の役割

「親が責任を持ってしつけを行うこと」が 55.6%

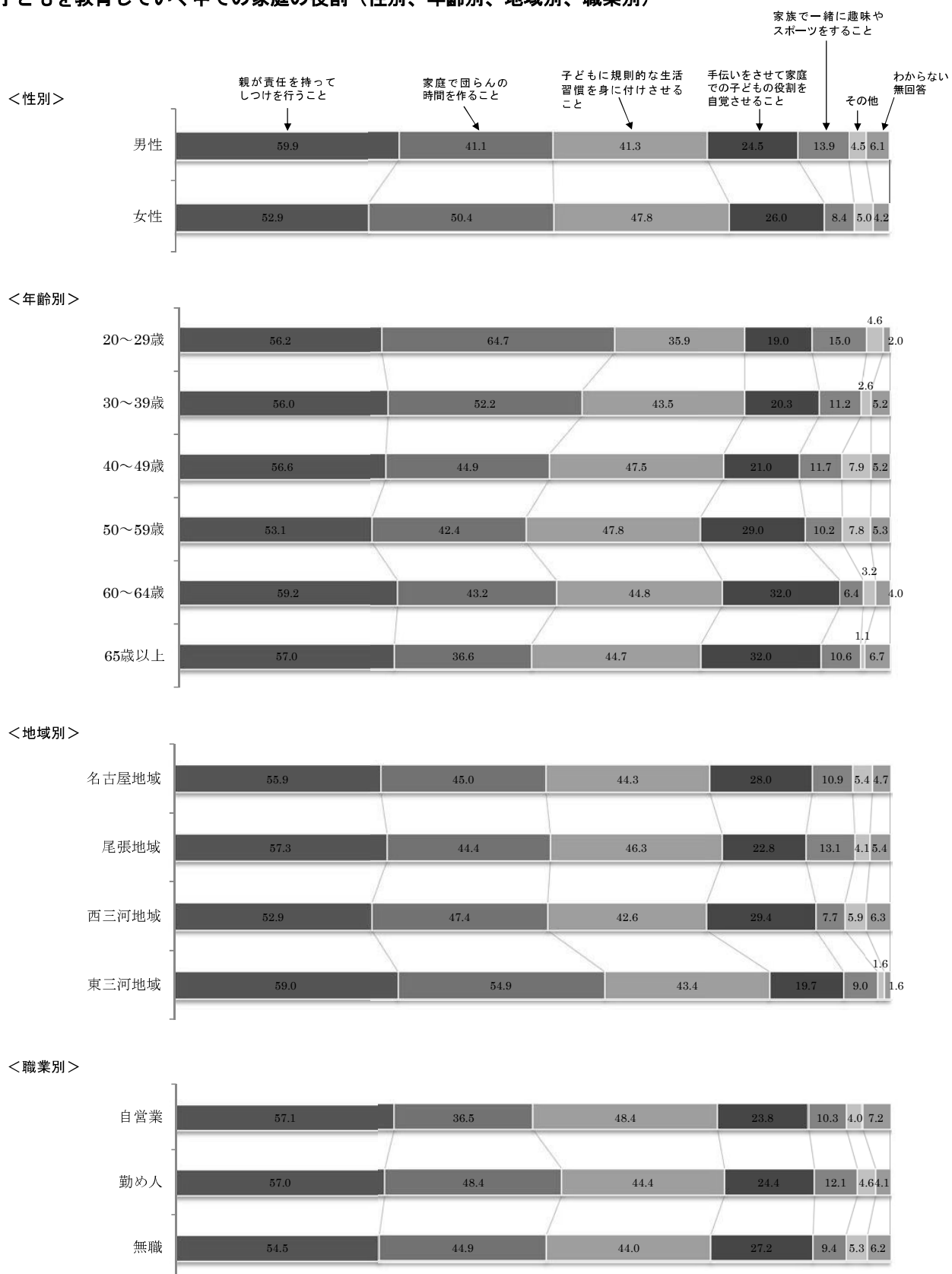
問 28 家庭は、すべての教育の出発点となりますが、近年、家庭の教育力が低下していると言われてい
ます。子どもを教育していく中で、家庭の役割としてどのようなことが重要であると思いますか。次の
中から該当する番号に○印を付けてください。(○は2つまで)



件数=1443

子どもを教育していく中での家庭の役割について、「親が責任を持ってしつけを行うこと」と答えた人の割合が 55.6%と最も高く、続いて「家庭で団らんの時間を作ること」(45.9%)、「子どもに規則的な生活習慣を身に付けさせること」(44.8%)の順になっている。

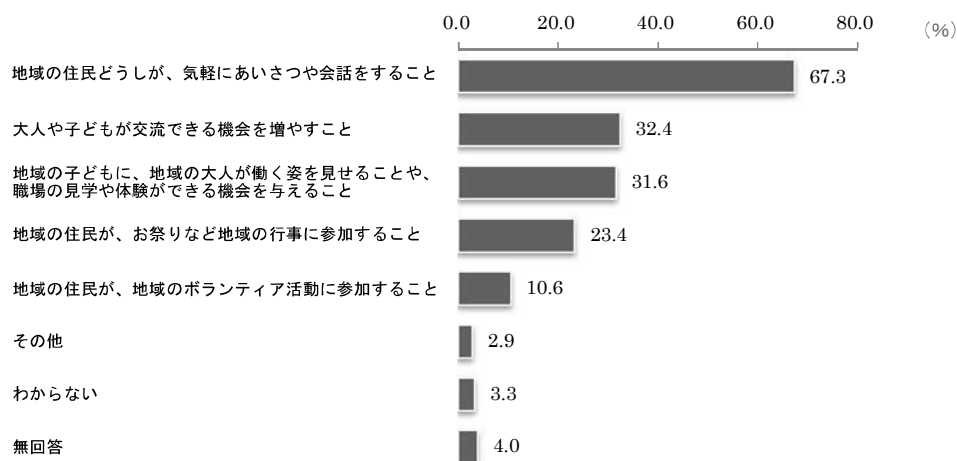
子どもを教育していく中での家庭の役割（性別、年齢別、地域別、職業別）



(2) 子どもを教育していく中での地域社会の役割

「地域の住民どうしが、気軽にあいさつや会話をする事」が 67.3%

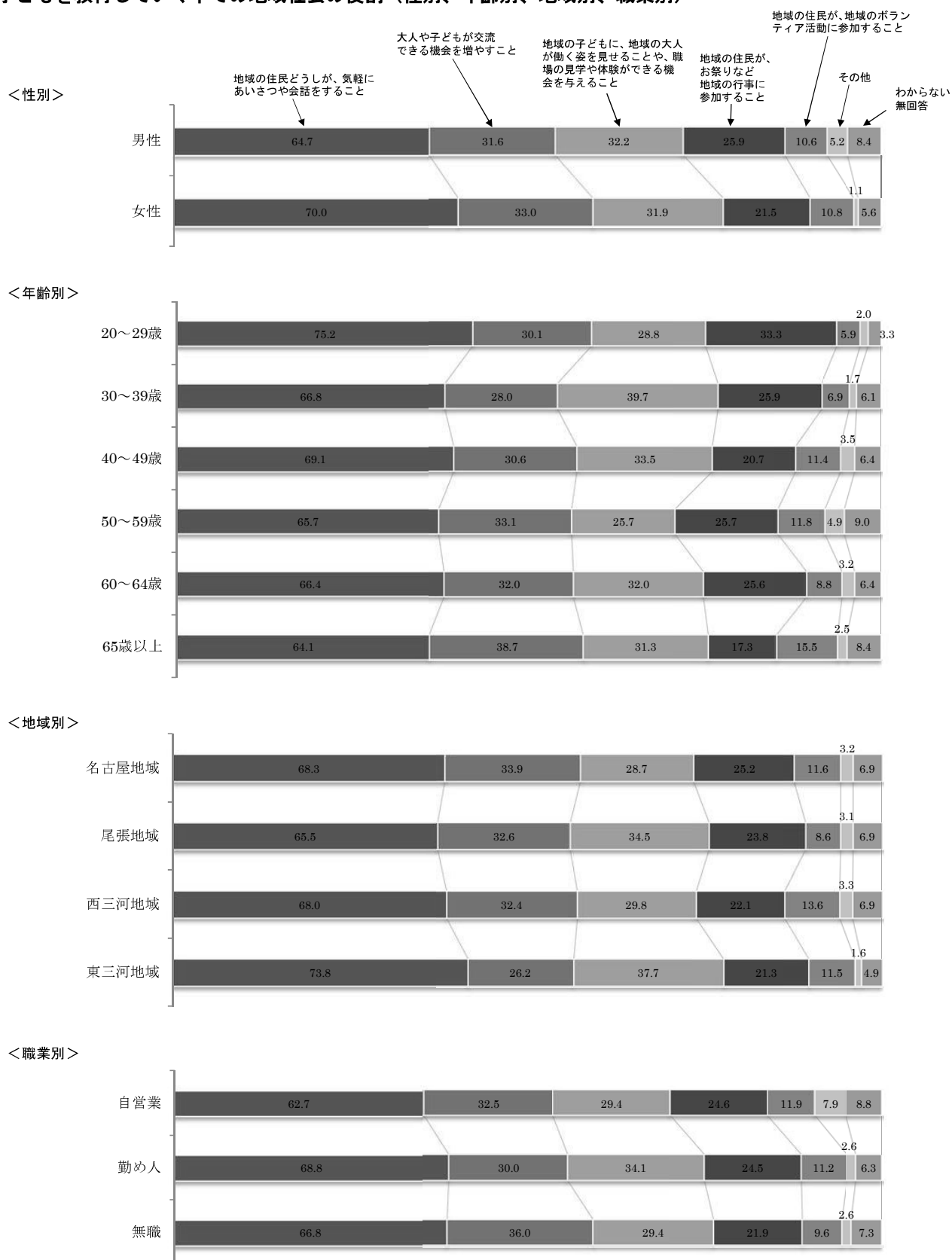
問 29 子どもを教育するには地域社会の役割が欠かせません。地域ではどのような取組が重要であると思いますか。次の中から該当する番号に○印を付けてください。(○は2つまで)



件数=1443

子どもを教育していく中での地域社会の役割について、「地域の住民どうしが、気軽にあいさつや会話をする事」と答えた人の割合が 67.3%と最も高く、続いて「大人や子どもが交流できる機会を増やすこと」(32.4%)、「地域の子どもに、地域の大人が働く姿を見せることや、職場の見学や体験ができる機会を与えること」(31.6%)の順になっている。

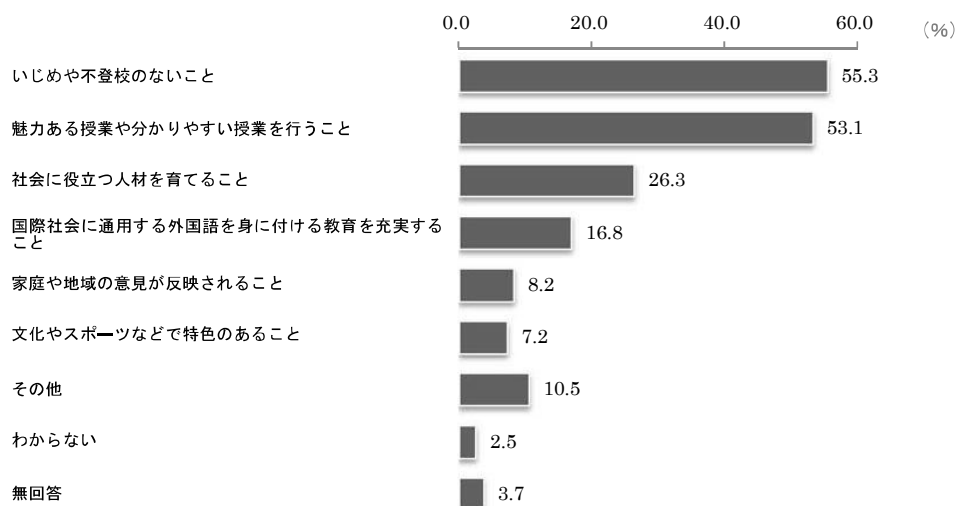
子どもを教育していく中の地域社会の役割（性別、年齢別、地域別、職業別）



(3) 学校に望むこと

「いじめや不登校のないこと」が 55.3%

問 30 これからの学校に特に望むことは何ですか。次の中から該当する番号に○印を付けてください。
(○は2つまで)



件数=1443

学校に望むことについて、「いじめや不登校のないこと」と答えた人の割合が 55.3%と最も高く、続いて「魅力ある授業や分かりやすい授業を行うこと」(53.1%)、「社会に役立つ人材を育てること」(26.3%)の順になっている。

学校に望むこと（性別、年齢別、地域別、職業別）

